

地震防災技術普及小委員会 活動報告



地震工学委員会 2024年度 第1回研究会

2024年5月21日

樋口俊一

小委員会の概要



❧ 発 足：平成8年11月～（今年で28年目の活動）

❧ 委員構成：委員30名、顧問4名（2024.5時点）

委員長	樋口 俊一（大林組）				
副委員長	大竹 省吾（オリエンタルコンサルタンツ）				
幹事長	坂井 康伸（清水建設）				
副幹事長	山口 直也（エイト日本技術開発）				
	WG1	WG2	WG3	WG4	
主査	黒田 武大（鹿島建設）	橋本 隆雄（国士舘大学）	工藤 浩史（ドーコン）	中村 晋（日本大学）	
副主査	倉橋 奨（愛知工業大学）	芳賀 堯（パシフィックコンサルタンツ）	眞野基大（エイト日本技術開発）	石丸 真（電力中央研究所）	
委員	青地 知也（開発工営社）	指田 朝久（東京海上ディーアール）	中山 学（－）	中瀬 仁（東電設計）	
	池田 隆明（長岡技術科学大学）	濱野 雅裕（エイト日本技術開発）	鎌田 泰子（神戸大学）	大矢 陽介（港湾空港技術研究所）	
	福武 毅芳（清水建設）	渡辺 和明（大成建設）	佐藤清隆（電力中央研究所）		
	久末 賢一（大林組）	佐藤 京（寒地土木研究所）	梅林福太郎（オリエンタルコンサルタンツ）		
	和田 一範（鉄道総合技術研究所）	佐々木智大（大林組）	外木場康将（奥村組）		
	栗林健太郎（エイト日本技術開発）				
顧問	木全宏之（高圧ガス保安協会）	松田 隆（－）			
	後藤洋三（開発虎ノ門コンサルタント）	溜 幸生（東電設計）			2

活動内容



小委員会の活動目的

社会基盤施設の耐震性向上および地震防災性に優れた社会建設のために必要な知識・知見・思想、および調査・研究成果など地震防災技術を，土木学会会員を中心に広く普及させ、地震災害の軽減に貢献する

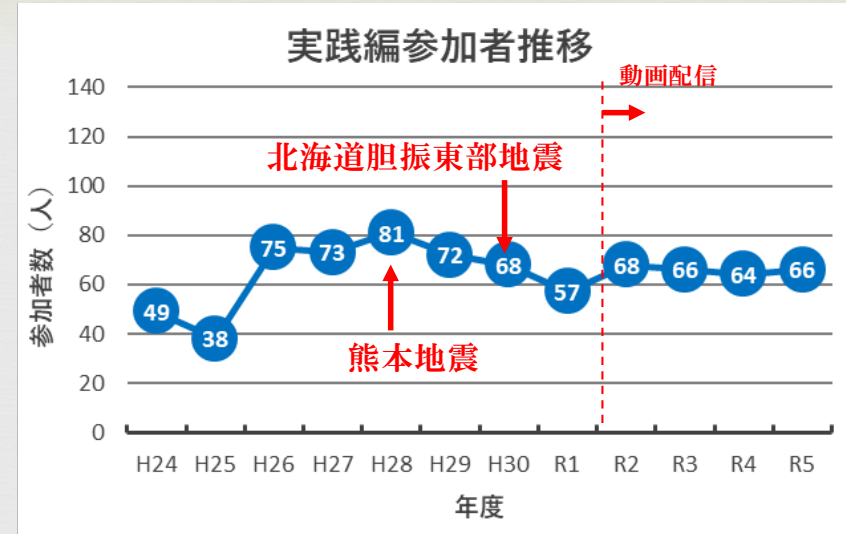
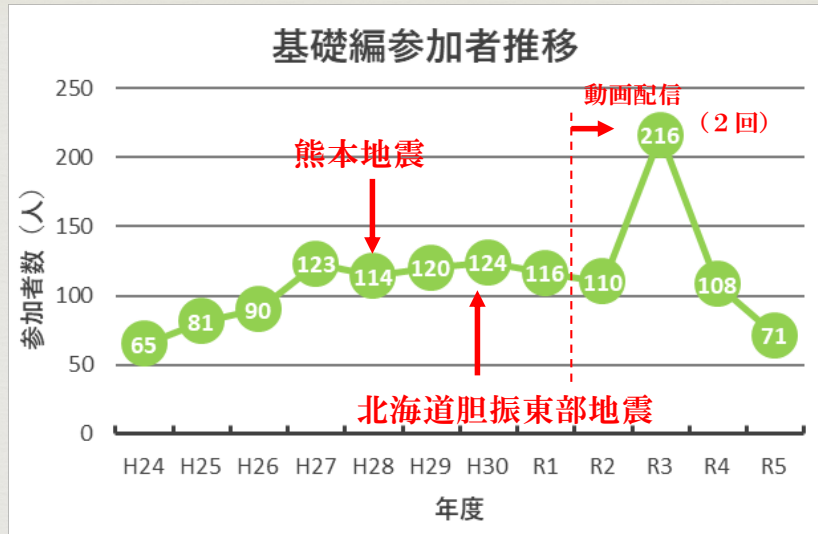
主要な活動内容（行事など）

- WG 1：耐震設計入門セミナーほか
- WG 2：地震災害マネジメントセミナー
- WG 3：地震防災技術懇話会、被災地視察会
- WG 4：地盤・構造物の非線形解析法のV&Vの普及に特化したセミナーの開催（2022.4～2025.3予定）
- 出版活動

耐震設計入門セミナー



- ☞ 発足当時から継続実施している当小委員会の看板行事
- ☞ 平成19年度より、「**基礎編**」、「**実践編**」の2本立てで実施
 - ・ **基礎編**：耐震設計業務経験の比較的浅い人向け
 - ・ **実践編**：実務経験5年程度以上の人向け
- ☞ R5年度は、新型コロナウイルスの影響がある程度緩和されたため、**講義は講堂で実施し動画配信を併用して実施。基礎編1回、実践編1回**

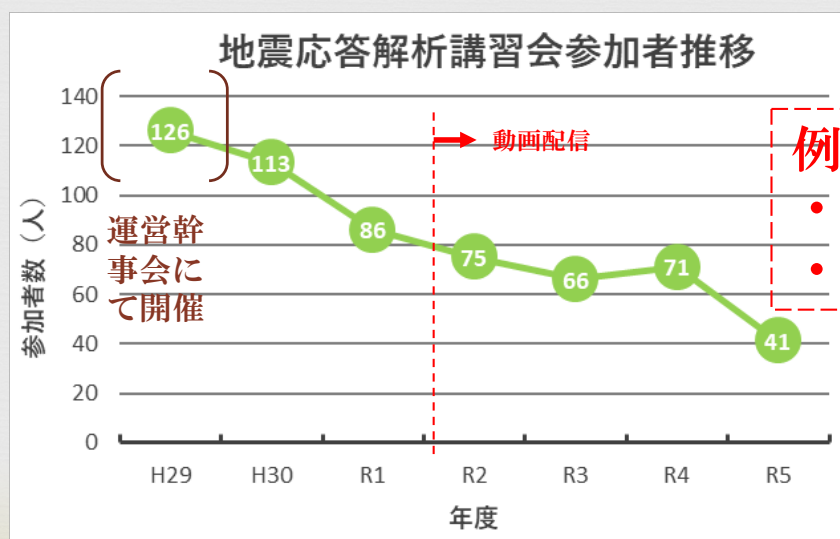


- 東日本大震災以降、参加者が増加傾向にある。特に基礎編は、ここ数年、講堂が満席相当(120名)に近い参加状況となっていた。R5年度は71名と減少傾向だが、R6は能登半島地震で増加が見込まれる
- R2年度より前撮り動画配信を開始し、R5年度はWebによる同時配信（いずれも1週間繰り返し視聴可能）とした
- Web配信は特に初級者・遠隔地からの出席者に好評で、定着したと思われる

地盤の地震応答解析－秋の講習会



- 吉田 望先生（関東学院大学）による実務者向け地盤の地震応答解析に特化した講習会
- 平成30年度より当小委員会が担当（夏あるいは秋）
- R5年度は**演習時間**を取るため**期間を1.5日**として**実施**



例年比減：

- 募集期間が短かった
- 1.5日開催の影響分析

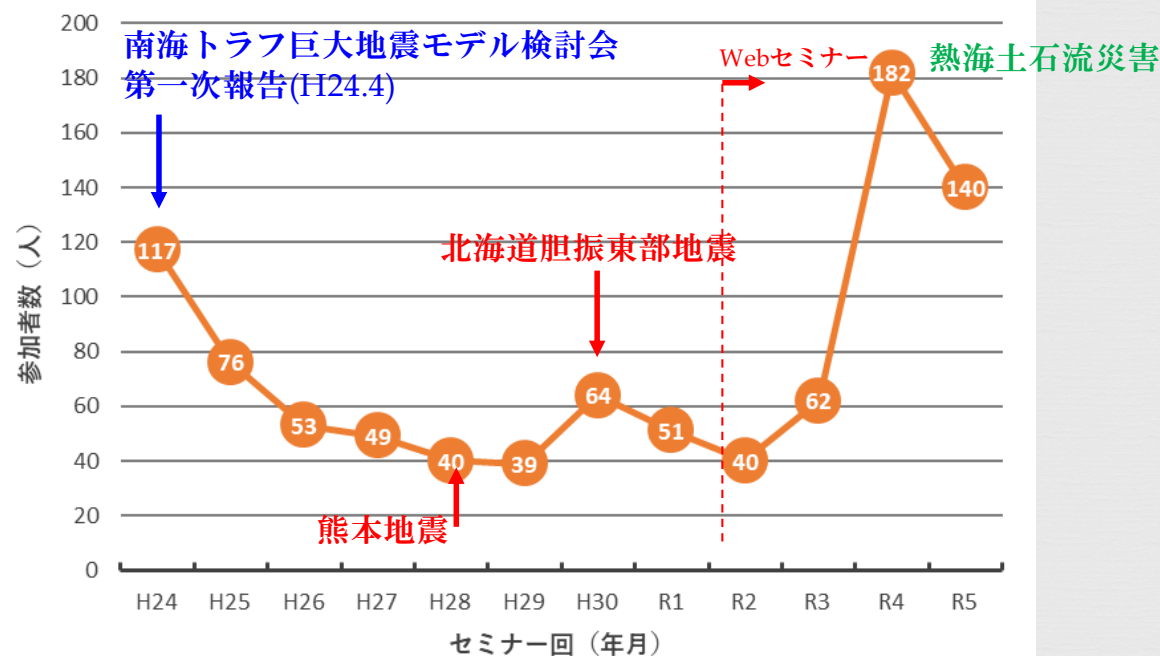
地震災害マネジメントセミナー



- ☞ 平成11年2月の第1回以降ほぼ毎年継続的に実施
- ☞ R2年度以降は、**オンライン (Zoom) 併用で実施**

開催回	開催年月	テーマ
13	H25. 12	南海トラフの巨大地震に向けた津波への備えと課題
14	H26. 12	首都直下地震・想定される被害と防災・減災への取り組み
15	H28. 1	地震防災と先端技術
16	H28. 11	熊本地震で見えてきた課題と今後の展望
17	H30. 1	復興活動から考える減災・防災
18	H30. 11	大都市に潜む震災要因と求められる対策 -液状化や津波に着目して
19	R1. 11	我が国の地震防災を支える高度解析技術— シミュレーション技術の最前線
20	R2. 10	複合災害に備える - 地震, 豪雨, 火山噴火などによる重畳災害に備えて - (オンライン開催)
21	R3. 11	首都圏直下地震及び南海トラフ巨大地震に備えた事前復興 — 東日本大震災から学び災害前から復興を検討する— (オンライン開催)
22	R4. 11	盛土規制法と防災対策 — 熱海の土石流災害の教訓から危険な盛土を強靱化する— (ハイブリッド開催)
23	R5. 5	関東大震災の教訓と迫りくる首都直下地震に備えた準備と対策— 関東大震災から100年、想定外と言わないための再検証— (ハイブリッド開催)

地震防災マネジメントセミナー参加者推移



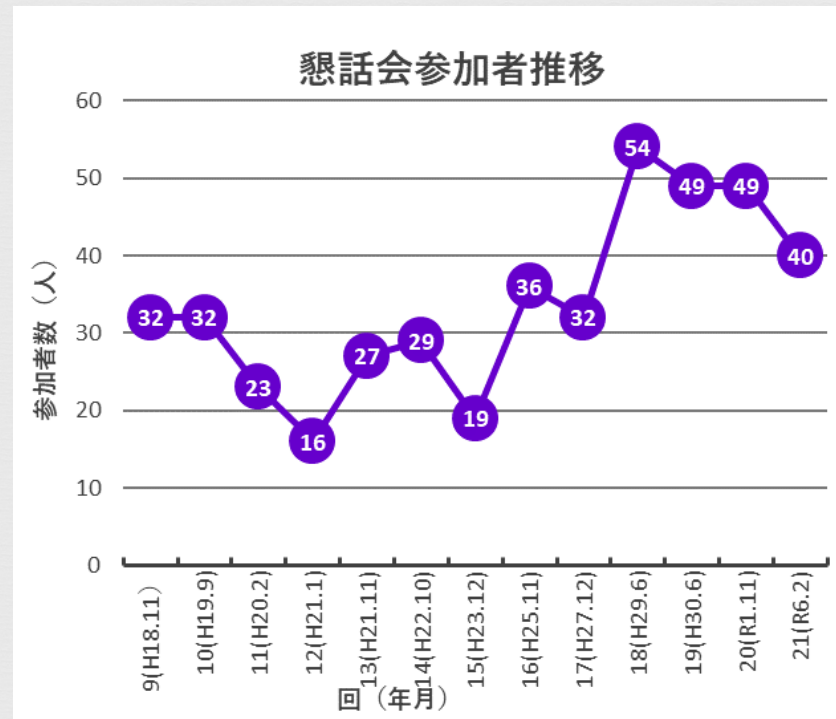
- ❧ 内閣府等による国の動きがあった時の関心は高く参加者が多いが、集客に苦戦している時期も多い
- ❧ テーマ選定や広報活動などに工夫を凝らし企画 (R4)
- ❧ オンライン開催により一定数の参加者を保持
- ❧ R5年度は関東大震災100周年企画 (140名)

地震防災技術懇話会



- ☞ 国内外の地震防災分野における著名な先生方を講師としてお招きし、平易で肩の凝らない話をしていただく
- ☞ 先生を囲う会議形式を原則とし、R5年度に4年ぶりに再開

開催回	講師	開催年月	講演タイトル
1	George Gazetas 先生	H14. 5	杭の動的相互作用問題
2	伯野 元彦 先生	H14. 12	震害から学ぶ
3	吉見 吉昭 先生	H15. 4	地震地盤工学における設計マニュアルの功罪
4	田中 貞二 先生	H15. 6	常時微動から強震動へー研究の思い出話、こぼれ話ー
5	武田 寿一 博士	H15. 12	高層鉄筋コンクリート構造物の耐震設計ー武田モデルの誕生ー
6	石原 研而 先生	H16. 4	地盤と基礎の被害とその考察
7	山田 善一 先生	H16. 8	地震工学・構造工学に関わってー私の履歴書七十五年ー
8	田村 重四郎 先生	H17. 9	1995年兵庫県南部地震での第一次提言提案の頃
9	野上 仁昭 先生	H18. 11	米国での長年の研究生活を振り返る:人生様々
10	片山 恒雄 先生	H19. 9	国際交流ー私の経験からー
11	星谷 勝 先生	H20. 2	リスクマネジメントにおける地震防災投資効果の評価技術
12	和泉 正哲 先生	H21. 1	将来を見据えて
13	土岐 憲三 先生	H21. 11	地震防災と文化遺産
14	篠塚 正宣 先生	H22. 10	都市インフラの地震災害リスク
15	亀田 弘行 先生	H23. 12	温故知新ー地震防災技術の変遷からー
16	大町 達夫 先生	H25. 11	直下地震工学序説
17	濱田 政則 先生	H27. 12	液状化地盤の流動研究と実践
18	西村 昭彦 博士	H29. 6	構造物の耐震設計と補強(被害を鑑みて)
19	岩楯 徹広 先生	H30. 6	温故知新「私の研究・教育人生」
20	家村 浩和 先生	R1. 11	免震制振技術を応用した長大橋の耐震補強
21	高田 至郎 先生	R6. 2	「ライフライン防災」に取り組んだ60年



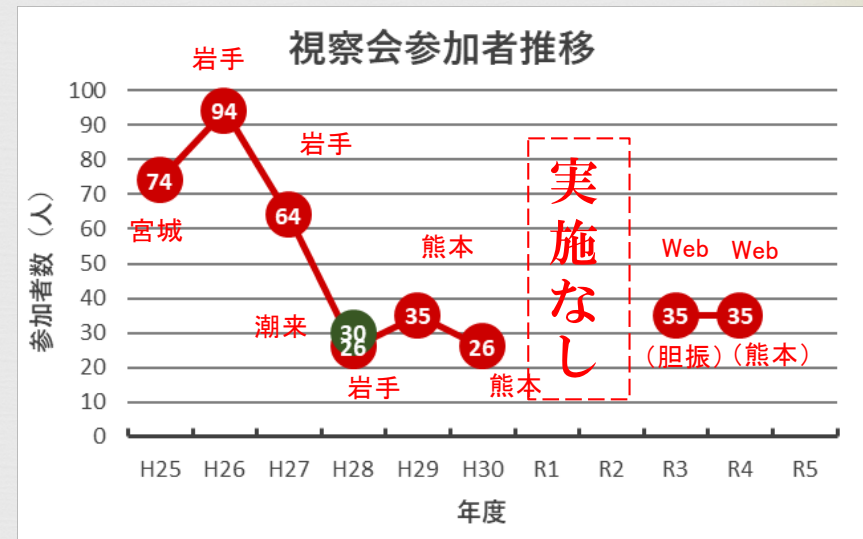
R5年に4年
ぶりに再開

- ❧ 17回までの各回は概ね20名～30名程度で推移
- ❧ 18回以降は本部行事として実施（参加無料）
- ❧ 懇話会后、講師を交えて軽食をつまみながら歓談する場も設けているところも売りの一つ（参加は任意）
- ❧ R5年度はコロナも落ち着き再開が叶う

被災地視察会



- 復旧状況を直接見たり、現地で起きたことを学習し、現地の雰囲気を感じて提供できる
- 平成17年度より神戸、平成24年度より東北、平成29、30年度は熊本の地震被災地を巡った。参加者は概ね30～40名で推移
- R1-2年度は新型コロナウイルスの影響で、開催なし
- R3-4年度は、視察会に復旧状況)に関するWebセミナーを開催
- R5はR6の現地開催準備のため、候補地(神戸)を下見



※ 2日開催の場合は延べ人数を表示
2019年、2020年開催なし

「地盤・構造物の非線形解析法の検証と 妥当性確認の方法」に関する講習会



- ❧ 研究小委員会成果（R3終了）に関わる地震防災技術の普及
- ❧ R4年度よりWG4を立ち上げて実施
 - R5年10月、Webセミナーにて開催（参加者70名）
 - 累計参加者数147名
 - 書籍販売数525部（2024.04末まで）
 - R6で活動終了予定

出版活動



☞ 耐震設計入門セミナーのテキストを出版

・ 基礎編（平成22年度～）：累計販売 3,343部

令和4年7月に改訂版を出版⇒耐震構造計画を追補

・ 実践編（平成26年度～）：累計販売 1,349部

令和6年11月改訂版出版に向け作業（査読中）



基礎編用：定価¥3,400

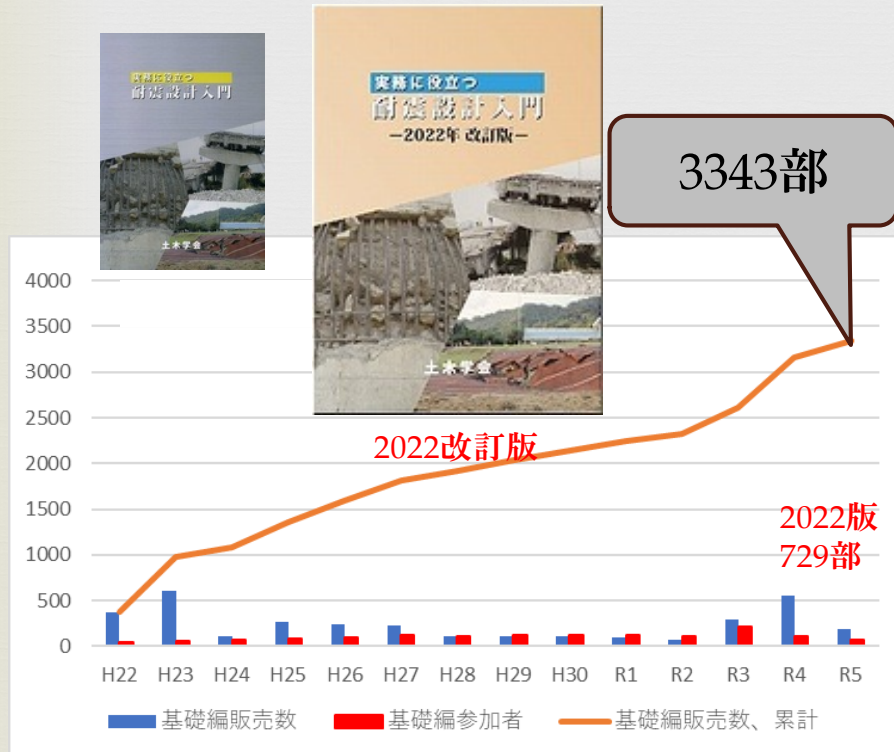


実践編用：定価¥3,900

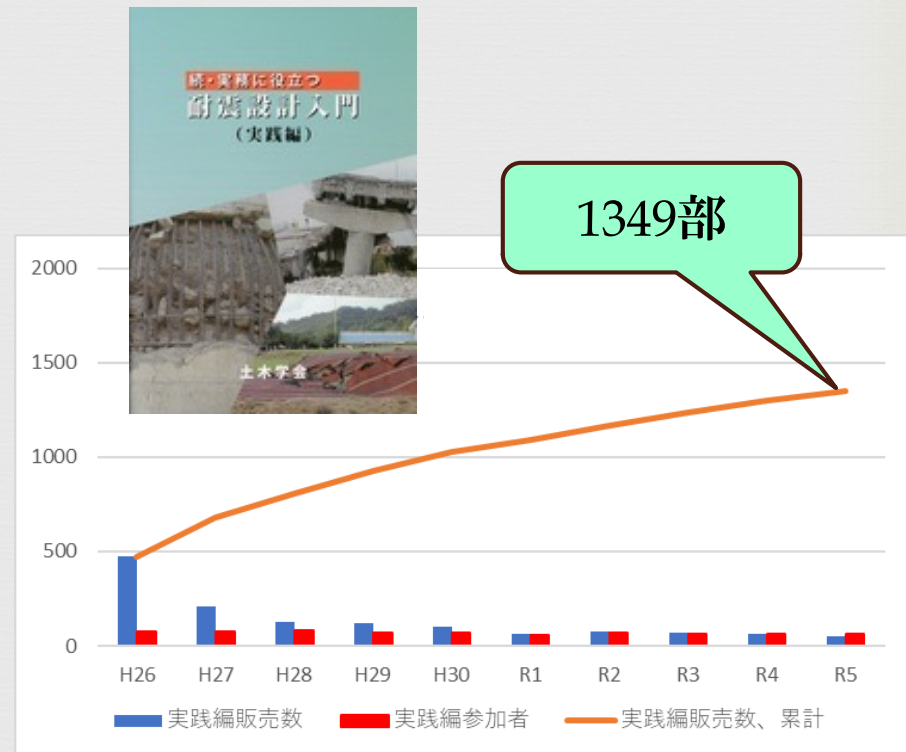
出版活動（つづき）



耐震設計入門セミナーのテキスト、販売部数の推移



基礎編



実践編

ご清聴ありがとうございます
ございました

懇話会ビデオの公開



☞ 小委員会HPにて、会員限定で懇話会の映像を公開中（第10回以降）

『地震防災技術懇話会』

主催:公益社団法人土木学会 地震工学委員会 地震防災技術普及小委員会

【第10回地震防災技術懇話会】「国際交流-私の経験から」 東京大学名誉教授 片山恒雄先生

2007年9月

